

整理番号：7-2

提言題名：イノシシの出没による「子ども110番の家」活動への影響について

【提言要旨】

「子どもを守る110番の家」協力者です。

●●地区に野生の猪（2頭、親子）が出没して、各家庭によっては入口の扉、門が閉まっている状態が長く続いております。

通学、帰宅途中の学生が何かのときに助けを求めて家に入って来る時には、扉門扉が開いていないために、助ける事が手遅れになる恐れがあるともかぎりません。早急に猪対策をお願いします。

（令和6年10月 受付）

【回答要旨】

●●様が御存じのとおり、取手市内においてもイノシシの目撃情報は度々発生していることから、猟友会と協力し人の生活圏に侵入してきているイノシシに対してワナによる捕獲及び駆除を行っているところです。

御心配いただいております「子どもを守る110番の家」につきましては、取手警察署生活安全課に問い合わせをしたところ、「子どもを守る110番の家について門扉開放の取決め等は無く、むしろ防犯上は閉扉しておく事を推奨している。」とのことでした。

取手市としては、今後も猟友会と協力したイノシシ対策を引き続き推し進めてまいります。また、上記のとおり、防犯上、各御家庭において閉扉することが推奨されていることもあり、御協力者様の可能な範囲で「子どもを守る110番の家」事業への御協力をお願いしたいと存じます。

（令和6年11月 学務課回答）